

発行所 全日本建設交運一般労働組合  
栃木県本部 〒327-0315  
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1  
Tel. 0283-62-7312 fax 0283-62-7318  
www.kenkourou.or.jp/  
E-mail:dqj06744@nifty.com

# CTGの建交労とちぎ

◎夏の参議院選挙では防衛費削減、消費税減税、インボイス制度廃止の公約を掲げる政党を支援しよう！

## 確定申告終了・税金の使い方こそ問題だ インボイス制度で「酷税」痛感

組合では1月後半から3月17日まで確定申告学習会に取り組み、組合員、家族など321人が参加しました。食料品や燃料など諸物価の高騰により厳しい生活実態が明らかになっています。

### 所得の1割「コウセイ」に

碎石運搬のダンブ組員の場合、部分的に単価が改善され、一昨年よりも売上が増えている組合員が少なくありません。しかし、軽油価格の高止まりにより経費を控除した所得は増えていません。食費、光熱費などの上昇により生計費はいっそう厳しくなっているのが実態です。

### 戦闘機よりも医療・福祉に

国は今年度防衛費を過去最大の8兆7千億円計上しました。世論の反対によって「凍結」した「高額療養費」の負担増は、100億円の予算組み替えで対応できることが明らかになっています。

さらに、令和5年10月から強行されたインボイス制度の影響が深刻です。

### 【石田義弘さん】

昨年の売上は900万円、所得は250万円でした。所得税は定

額減税を受けても75300円、インボイス登録により消費税は「2割特例」を受けても164000円、じつに所得の約1割を支払うことになりました。



よしも



に

て国民の命を守る税金の使い方こそ求められています。今夏参議院選挙で審判を！

## 春の健康診断会のお知らせ

### オプションのご案内

### 5月18日(日)実施

## 建設国保加入者は補助金で

組合では年2回(春、秋)健康診断会を行っています。平日では仕事で参加できない組合員が多いため、毎週日曜日午前中に行います。組合員なら誰でも参加できます。

### 【検査項目】

- ・医師診察・血圧測定
- ・尿検査・身体計測
- ・聴力検査・胸部X線
- ・血液検査・心電図

※追加検査も選択できます。予約時にご相談ください(左図)。

### 【検査費用】

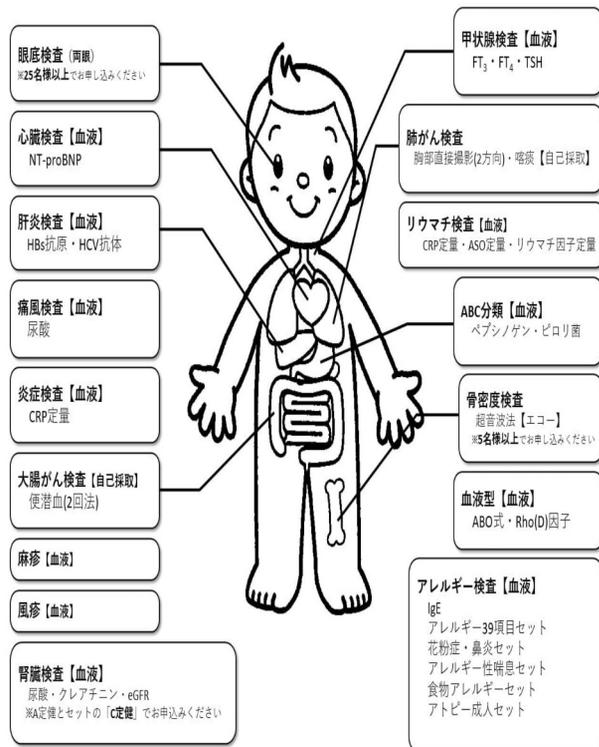
◎建設国保の人  
・7480円。後日建設国保から全額還付(実質無料)。  
◎自治体国保の人5500円。(1980円組合が補助)

### 【日時・場所】

5月18日(日)午前8時〜  
新吉水コミュニケーションセンター

### 【申込期限】

4月23日(水)までに組合へ  
☎0283-62-1731



腫瘍マーカー検査【血液】 ※①〜⑧の番号でお申し込みください				腫瘍マーカーセット	
①大腸がん (腫がん)	②肝臓がん	③子宮体部がん (前葉がん)	④乳がん	男性セット6項目 CEA・AFP・CA19-9・PSA・抗p53抗体・ABC分類	
⑤すい臓がん (膵臓がん)	⑥子宮頸部がん (腫がん)	⑦前立腺がん	⑧食道がん (乳がん、大腸がん)	女性セット5項目 CEA・CA125・CA15-3・SCC抗原・抗p53抗体	
				女性セット3項目 CA125・CA15-3・SCC抗原	

腫瘍マーカーについて  
がん細胞が増殖する過程で分泌されることがありますが、これが腫瘍マーカーとよばれるものです。腫瘍が広がらなくても、がんは隠れています。あくまでがんの診断補助(正確な診断の確率を高めたり)とバイオマーカー(腫瘍の一部を除去する)の結果を病歴的に検査することによって行うのが一般的です。

運動手組合員斎藤正さんは昨年秋、事業主の指示で健康診断会に参加しました。

## 胃がんステージⅣだった

「その頃は自覚症状がなかったから驚きました。手術ができないと言われて・・・」。胃のムカツキなど症状が出るなか抗がん剤治療を継続しています。「保険を使っても一か月10万円以上する高い新薬なんですが高額療養費制度を使って投

ながら仕事も続けています。親方から言われなければ健診なんか受けることもなかったです。怖がって行かない人が多いけどやっばり行くべきですね」。

# 日産関連企業での不当解雇 勝利判決で職場復帰実現

上三川町にある日産自動車栃木工場内にある関東耐火(株)で働いていた組合員猪瀬泰弘さんは令和4年7月、勤務態度不良などの理由で解雇されました。猪瀬さんは解雇の撤回を求めて提訴。今年2月21日、宇都宮地方裁判所は解雇無効の判決を下し、この間の賃金の支払いも命じました。会社側は控訴を断念し判決は確定。今春から職場に復帰します。



勝利判決文を手に左から服部弁護士、猪瀬さん、石井書記長

関東耐火(株)は日産からは、会社側証人の証言からエンジンなど部品形成に使われる炉のメンテナンスなどを請け負っています。猪瀬さんは振動工具の連続使用などにより振動病を発症、労災認定も勝ち取っています。

「毎回県労連のみなさんに傍聴していただき心強かったです。組合員のみなさんご支援ありがとうございました。職場でがんばります」

## 産業を支える組合員 NHKが同乗取材

3月14日午後7時30分から、NHK宇都宮放送局「とちすぺあの日のふるさとSP」でダンプ支部工藤前委員長への同行取材が放送されました。

過去に放送された番組から視聴者がもう一度見たいと思った番組を投票し上位5番組が紹介されました。

番組では当時の様子として青森出身の工藤さんが紹介されました。



放送された昭和48年当時のダンプ！



出稼ぎ当時の苦勞を語る工藤さん

NHKプラス「#関東甲信越」「とちすぺあの日のふるさとSP」で視聴できます。



長年にわたる奥さんへの感謝を語る

## 職場の熱中症対策義務化 いのちと健康を守る猛暑対策を 春闘要求



「特定粉じん作業」に指定された作業を冷房のない環境で行います。

「地球沸騰化の時代」厚生労働省は熱中症対策を罰則付きで事業者に義務付けます。今年6月から施行されます。暑厚労省によると「暑さ指数2.8以上または気温3.1度以上の環境下で連続1時間以上または1日4時間を超える」作業を要する際に、対策が義務づけられます。事業者が怠れば60万円の罰金が科される可能性があります。

この改正を受け酷暑環境でセメント袋詰め等の作業を行うフコックス分会では、春闘要求で具体的な対策を求めています。いのちにかかわる要求です。

## 組合員紹介「T.M.N.・NAHUKO(株)」

深夜車庫を出発し埼玉県の生コン工場まで運行する姿が放送されました。

番組を通して、栃木県の地場産業、首都圏の社会インフラを支えるダンプ労働者の姿が少しでも認知されればと思います。

建設現場ではすでに外国人労働者抜きでは回らない状況が生まれています。運輸業界では、運転免許の問題等があり、なかなか進みませんでした。しかしこの2、3年、ダンプ業界でも外国人ドライバーが加入しています。

ゴメスさんは8歳のときブラジルから茨城県常総市に移住した日系4世です。小学校には国際教室がありましたが、文化の違いや言葉の問題では苦労したといっています。



同僚のサンタナさん(左)と

苦勞して大型免許を取得、母国にいる母親に仕送りをする孝行息子です。外国人労働者を人手不足の調整弁ではなく、ともに働く仲間として受け入れる土壌づくりが求められています。